

## モリブデン | 欧州トレーダー勢のショートカバー殺到で相場急騰

ステンレスなど特殊鋼に用いられるモリブデンの国際相場が急騰している。三酸化モリブデン ( $\text{MoO}_3$ ) のスポット価格は足元で20.0ドル/lb Mo。より川下で鉄鋼添加材のフェロモリブデン (FeMo) は49.5ドル/kg Moと、いずれも2ヵ月ぶりの高値を付けている。三酸化モリブデンは最大市場・中国で秋頃から需要の減速感が強まり、8月中旬の26ドルから12月初旬には17ドルまで落込んでいた。だが、12月中旬に中国の大手鉄鋼メーカーが大量のフェロモリブデン入札を実施したことで中国内価格が反発。国際相場も上昇基調に転じていた。一方、ヨーロッパの多くのトレーダーは、需要回復の遅れと供給量の拡大により、来年も相場低迷が続くとの見通しから、フェロモリブデンを中心に大量のショートセールス（期先デリバリーでの売り契約）を実施していた。だが、中国の予想外の需要増にくわえ、ヨーロッパの海運大手が紅海でのイエメン武装組織による船舶攻撃を受け、スエズ運河航行の回避を発表。アジアからフェロモリブデンの到着が遅れることで、今後のスポット市場の供給タイト化を懸念したトレーダー勢が長期クリスマス休暇に入る前に一斉にショートカバーに走った。さらに、スポット市場で販売できる生産者が1社に限られたことでオファー価格が吊り上げられ、相場上昇に拍車をかけた。今後の相場について、レアメタル専門商社・アドバンストマテリアルジャパンの松村 洋・合金鉄部長によれば、「物流遅延でヨーロッパのスポット市場への供給に懸念があるなか、ショートカバーのニーズが残り、当面は下がりにくい状況が続く」という。一方で、「ヨーロッパ事由は供給面でのテクニカル要因に過ぎないため、供給懸念が一服すれば、中国の需要動向に左右される本来の状態に戻る」とも指摘する。年内の相場については、中国の鉄鋼メーカーがフェロモリブデンの追加入札を計画していることもあり、現状の高値が維持されるとみられているが、年明け以降は、一部のメーカーが来年の長期契約の取引数量を縮小させるとの情報もあり、中国内価格が再び反落することで、国際相場も調整に転じる可能性もあるという。